

## アシネトバクター属のシクロヘキサノンモノオキシゲナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0822

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 精製されたシクロヘキサノンモノオキシゲナーゼは、多用途の酸素化触媒です。この酵素は、結合したFAD-4a-OOH酸素化中間体を使用して、求電子基質部位への酸素の移動を開始します。その結果、 $\square\square$ するスルホキシドおよびセレノキシド生成物が得られます。この酵素は、ポロン酸における窒素、三価リン、ホウ素部位の酸素化も可能です。したがって、これは知られている中で最も広範なフラボプロテイン酸素化酵素の一つです。

**用途** シクロヘキサノンモノオキシゲナーゼは、*Escherichia coli*において2-オキソ- $\Delta(3)$ -4,5,5-トリメチルシクロペンテンアセチル-CoAモノオキシゲナーゼ (OTEMO) をクローニングおよび過剰発現させた研究に使用されました。シクロヘキサノンモノオキシゲナーゼは、組換えコリネバクテリウム・グルタミカム細胞によるパイオトランスフォーメーション能力に $\square$ する細胞壁の構造修飾の影響を調 $\square$ した研究にも使用されました。

**別名** シクロヘキサノン 1,2-モノオキシゲナーゼ; シクロヘキサノンオキシゲナーゼ; シクロヘキサノン:NADPH:酸素オキシドレダクターゼ (6-ヒドロキシ化, 1,2-ラクトン化); シクロヘキサノンモノオキシゲナーゼ; EC 1.14.13.22; 52037-90-8; シクロヘキサノン,NADPH:酸素オキシドレダクターゼ (ラクトン形成)

### 製品情報

**種** アシネトバクター属

**由来** *E. coli*

**形態** 80% 飽和硫酸アンモニウム、20 mM K-Na-リン酸緩衝液 pH 7、3.5 mM 1,4-ジチオエリスリトール (DTE) の懸濁液。

**EC番号** EC 1.14.13.22

**CAS登録番号** 52037-90-8

**分子量** 59 kDa

**活性** >12 U/ml

**単位定義** 1ユニットは、pH 9.0および30 °Cで1 $\mu$ molのNADPHを1分あたり酸化するシクロヘキサノン刺激の反 $\square$ を触媒する酵素の量に相当します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°Cで保管してください